

節分



2月3日、きりんアパートメントでは豆まきを行いました。

新聞紙を丸めて作った大きな大きな豆を入居者様は両手に持ち、鬼の登場を待たれていました。

突然の大きな声とともに姿を現した赤鬼と青鬼。皆様は「それー」「鬼はー外ー」と、一斉に鬼をめがけ、豆を投げつけます。

鬼はしばらくの間、アパートメントの中を暴れまわっていましたが、次から次に飛んでくる大きな豆に怯み、逃げていきました。

大変盛り上がった豆まきで、今年一年分の邪気を鬼とともに追い払いました。



歌声喫茶



老健きりんでは歌うことが好きな方、音楽を聴くことが好きな方々に集まっていたいただき『歌声喫茶』として活動しています。

リハビリスタッフの伴奏に合わせ、聞こえてくるのは、利用者様の歌声。

懐かしい童謡や歌謡曲が施設内に響きます。こうして音楽を日常に取り入れることで脳の活性化や、リラックス効果、ストレスの軽減など様々な効果があると言われており、認知症の方にも大変良い効果があるそうです。

懐かしい音楽に触れ、周りの方たちと一緒に歌うことで、充実感や満足感も得られます。



さくら組



老健きりんでは日付や天気など、周囲の状況を正しく認識するため能力、『見当識』の訓練も行っています。

【春の草花といえば

？』との質問に、難しい顔をしながらも「桃の花」「菜の花」「たんぽぽ」「桜」「梅」「スイセン」などたくさんの方の春の草花の名前が上がっていました。



春信



陽の光の暖かさを感じる日が増え、周りの景色も少しずつ鮮やかになり、春の気配が感じられるようになってきましたね。

2月18日の夜から19日未明にかけ2年ぶりの『春一番』が吹き、きりんでも春を待ちわびた花があちらこちらに咲き始めました。

施設内で見られる花々に、散歩中の利用者様は「もう春の来た」「色のよかねえ」と心地よい風に吹かれ、いつもよりも軽い足取りで歩かれています。

また、面会に来られたご家族様からは「キレイですね。春を感じました。」と喜んでいただいています。



雛段飾り

女の子の健やかな成長を願う、桃の節句。毎年きりんの各事業所におひなさまを飾ります。

準備をはじめてすぐに雛段飾りの入った箱に気づき、皆様そわそわ。箱から次々と出てくる雛飾りに「もうそんな時期ね」とうれしそうな顔をされ「あらあ、私たちも三人官女のごたんね」「立派か雛段ね」「娘にもこがんして雛段飾りばしよったよ」と談笑されていました。

ほんの短い期間ではありますが、利用者様やご家族様、来訪者様に大変喜んでいただいています。



さが桜マラソン2024

コロナウイルス感染症の影響で、4年ぶりの開催となる『さが桜マラソン』。市民参加型のマラソン大会で、その名の通り桜の咲くころに肥前路を走ります。制限時間が厳しくないことや走りやすいコースのため人気のある大会でもあるそうです。

きりんの職員も数名エントリーしていますので、皆様ぜひ応援をお願いします。

